



2017年1月30日

国立研究開発法人 建築研究所国際地震工学センター

第141号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

今月の話題

- 読者の皆様へのご挨拶
- 第22回国際地震工学研修グローバル地震観測コース開講
- 第11回アジア地震学会総会出席
- 国際測地学協会、国際地震学・地球内部物理学協会共催の科学大会の締切
- 2017年研修スケジュール

研修 データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

読者の皆様への御挨拶

国際地震工学センター長 横井 俊明

IISEE ニュースレターの読者の皆様。皆様と御家族、御同僚にとって幸せで繁栄した新年であらんことをお祈りします。2017年にも、IISEEはトレーニングコースを実施致します。

昨年、日本の熊本では、マグニチュード7.0(Mw)の地震により、深刻な災害が発生しました。その翌日、エクアドルでは7.8(Mw)の地震によって670名以上が死亡しました。マグニチュード6以上の地震により、イタリア、台湾、インドネシア、インド北東部で犠牲者が出ています。東アフリカのタンザニアでも、マグニチュード5.9(Mw)の比較的小規模な地震で激しい被害を受け、死者が出ました。

被災地の人々に深い同情を表明したいと思います。このような災害により、地震災害を軽減するための研修の必要性、地震の被害を受けやすい国に住む人々をより安全かつ平和的にするために、IISEEの高い使命を維持する必要性を再確認しました。

2017年初頭時点で、私達には100カ国1,751人の仲間が居ます。私達は、ニュースレター読者、研修参加者、そしてその他の地震工学および地震工学の分野で働く人々とのコミュニケーションと情報交換を促進する活動を続けています。ニュースレターに記載されている事項には注意してください。最後に、IISEEへの親切と注意のために皆様に感謝の言葉をお贈りしたいと思います。



横井センター長(中央)と
エジプトのマクラド(左)と
ニカラグアのアミルカー(右)

第22回国際地震工学研修グローバル地震観測コース開講

国際地震工学センター 管理室長 飯竹 理広

グローバル地震観測コースが1月17日から始まりました。研修には、エジプト(2人)、ホンジュラス、インドネシア(2人)、イラン(2人)、マラウイ、ミャンマー(2人)、ネパール、パキスタン、パプアニューギニア、フィリピン、ソロモン諸島、スリラン

地震データベース

2011年3月11日東北地方
太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



カ、タイ、ジンバブエから、18名が参加しています。



坂本理事長

開講式は、建築研究所で開催され、外務省軍縮不拡散・科学部軍備管理軍縮課横田直文首席事務官が来賓として出席されました。

式典では、来賓挨拶のあと、建築研究所坂本雄三理事長、そしてJICA筑波国際センター 芳賀克彦所長が歓迎の挨拶を行いました。最後に研修生を代表してマラウイのパトリック ラフィキ チンダンダリ氏か

ら挨拶がありました。

短い研修期間ですが、研修生がIISEEの研修に積極的に取り組み、良い思い出をもって帰国することを期待しています。

グローバル地震観測研修コースは、地震学の知識を使って核実験探知に必要な技術を獲得した人材を育成するという特別な目的をもった研修です。同コースは、CTBTO、外務省、JICA、気象庁、その他関係機関の協力により、1995年に開始してから22年を迎えました。



マラウイのパトリック



第11回アジア地震学会総会出席

国際地震工学センター 上席研究員 原 辰彦

横井国際地震工学センター長と私は、昨年11月25日から27日にオーストラリアのメルボルンで開催された第11回アジア地震学会(ASC)総会に出席しました。

横井センター長は、日本地震学会代表として ASC の Bureau member を務めています。会議では、招待講演者として「2016年熊本地震：地震動と被害」と題した発表を行いました。

私は「地震学、地震工学、津波防災分野における建築研究所国際地震工学センターの研修コース」というタイトルの発表を行いました（著者は国際地震工学センターの研究スタッフです）。

研修修了生の Eslin Galaebiti 氏（バヌアツ）が ASC の新しい Bureau member となったことをご報告します。会議では、何人かの研修修了生に会い、彼らの活躍や国際地震工学研修に対する参加要望を知ることができ、嬉しく思いました。



横井センター長



楽しむのは今です。

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国での活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお願い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>

国際測地学協会、国際地震学・地球内部物理学協会 共催の科学大会の締切

国際地震工学センター長 横井 俊明

上記の大会の締め切りが2月8日に設定されました。この会議は地震学と測地学がメインですが、いくつかのセッションは例えば国際地震学・地球内部物理学協会の“S07 強振動と地震災害とリスク”というシンポジウムの中で、地震工学や地震災害と危険について行われます。大会についてはこちらの HP をチェックしてください。

<http://www.iag-iaspei-2017.jp/index.html>

また大会の発表者のための渡航費支援も準備されています。

<http://www.iag-iaspei-2017.jp/financial.html>

皆さんの研究の成果を神戸で拝見できることを楽しみにしています。

2017 年 IISEE 研修スケジュール

☆地震学コース、地震工学コース、津波防災コース

1 月 4 日(水)	授業再開
2 月 7 日(火)	国際親善パーティ/ジェネラルミーティング
* 4 月 17 日(月)–4 月 21 日(金)	関西方面研修旅行
5 月 31 日(水)	ジェネラルミーティング
6 月 1 日(木)–9 月 1 日(金)	個人研修
7 月 14 日(金), 18 日(火)	中間発表会
8 月 17 日(木)–18 日(金)	最終発表会
* 9 月上旬	国土交通大臣表敬(1 日)
9 月上旬	ジェネラルミーティング
9 月 13 日(水)	IISEE 閉講式

バックナンバーは
下記をご覧下さ
い。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

9月14日(木)

GRIPS 卒業式

☆グローバル地震観測コース

1月17日(火)

開講式

2月1日(水)-3日(土)

関西方面研修旅行

2月7日(火)

国際親善パーティ

3月10日(金)

閉講式

*予定